

2019
夏号
No.79

ほ な み
穂 潤
For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所
早稲田大学藤沢稻門会

発行人 内田 進
穂 潤 編集委員会



2018年稻門祭ブース

稻門祭は校友会の各組織の代表からなる実行委員会が主体となり開催。今年の実行委員長はマラソンでお馴染みの瀬古利彦さんです。

卒業後15年目（今年は2005年卒）・25年目・35年目・45年目・50年目の皆様を対象とした「ホームカミングデー」が開催されます。

各種の模擬店も出店され、充分に飲・食を満たしてくれます。今年南ビール・鎌倉大仏ビールなど、湘南らしさをそろえ、湘南をPRしながら販売を行うと同時に、会員募集の受付も兼ねて行います。二ケーションで、楽しい稻門祭にできればと思います。先輩方は、喉をカラカラにしてお越し下さいますよう、心

茅ヶ崎市にある、熊澤酒造の熊澤社長は、茅ヶ崎平成卒の会メンバー。同社が作っております、湘

大を卒業すると同時に、校友会員となり、入・退会の概念は無いとのことです。ただ会費を納めていただくと、奨学金の原資となり、また、会費納入会員へのサービスの充実に努めると会則にあります。

早稲田大学校友会は、大学を卒業すると同時に最大のイベントです。

来たる10月20日（日）に「稻門祭」が開催されます。早稲田大学校友会は、この年にかけては無いとのことです。ただ会費を納めていただくと、奨学金の原資となり、また、会費納入会員へのサービスの充実に努めると会則にあります。

卒業生の秋の祭典

よりお待ち申し上げております。
杉下由輝（平成9・教育）

今年は平成卒の会が出店！

昨年発足した湘南地区平成卒の会は、茅ヶ崎・平塚・鎌倉・藤沢の平成卒の会メンバーで構成をされており、令和になつて初めてのキックオフイベントが決定。10月20日（日）に開催の「稻門祭」で、ブース出店致します。



平成卒の会の面々

残念ながら

荒天候で中止！

行事企画運営委員長

笹井 修一

*会計補佐
*副事務局長
*副幹事長
*常任顧問

6月30日（日曜日）、残念ながら「ワセダの地引綱」は荒天の為、中止となつた。みなさんの協力を得て準備万端進めてきたが、その成果は次回のお楽しみとなつた。

今回は昨年引き続き、練馬稻門会から12名の参加申し込みをいたしている。中止連絡メールに「またお声がけください」と温かいお言葉を返信いただいた。

成功させるぞ、との信念にも近い情熱で集客努力をしてくださった。「打てば響く」人々に囲まれて幸いである。

令和元年度 役員・幹事一覧

永田	昇・元	葛西	暢人・加藤	太一	憲幸	内田 進	皆川 伸夫	鈴木 昇生	野村 一二	中野 幸男	美昭 智之
ご苦労様でした。						＊会計監事	＊副会長兼幹事長	＊副幹事長	＊副幹事長	＊常任顧問	
						＊太字は新任	＊広報委員長	＊女性委員長	＊事務局長	＊会長	
							庄司 康博	笹井 修一	鈴木 伸一	内田 進	
							佐藤 順子	佐藤 健	酒井 康博	皆川 伸夫	
							高野 尚志	高野 尚志	中野 幸男	龍司 幸生	
							大庭 俊俊	大庭 俊俊	植田 智之	中野 幸男	
							山口 正一	山口 正一	松嶋 交治	美昭 智之	
							田口 利路	田口 利路	酒井 康博	皆川 伸夫	
							神澤 英治	神澤 英治	中野 幸男	龍司 幸生	
							小泉 英春	小泉 英春	中野 幸男	中野 幸男	
							田口 英朗	田口 英朗	植田 智之	美昭 智之	
							大川 浩雄	大川 浩雄	酒井 康博	皆川 伸夫	
							渡谷 孝之	渡谷 孝之	中野 幸男	中野 幸男	
							憲幸 由輝	憲幸 由輝	植田 智之	美昭 智之	

スポーツ応援俱楽部

早慶戦に敗れ3位に

2019年6月2日(日)

曜日)早慶2回戦が明治神宮球場で行われた。

勝ち点3同士の早慶戦。

1回戦は早稲田が慶應に3対2で先勝。今回は応援部校友・野澤大地氏のご協力を得、藤沢稻門会は5名で2回戦を内野応援席で応援した。試合は既に明治の優勝が確定し2位3位争いとなつた。昨年秋に早稲田が慶應の優勝を阻止した。3回でいいから死ぬ気で抑えてくれと言われた慶應・木澤投手(3)

無失点に抑えられた。一方慶應は3回柳町(4年・慶應)の二塁打と中村(4年・中京大中京)の3ランで5点を先制。早稲田は8回にようやく1点返し、5対1で慶應に勝ちを譲りタイとなつた。

3日目は慶應が勝ち、2勝1敗で勝ち点を4として2位。早稲田は3位となつた。帰途、湘南台駅の焼き鳥屋で懇親を深めて楽しい

四季の会

神社巡りと鎌倉野菜を堪能

四季の会(2019春の部)

月2日(日)の午後から行

われました。

昨年のフジロードと同様、

ほど散策、エリアは村岡・渡内地

区の4か所の寺社を巡り、日頃の運動不足を解消しながら楽しくウォーキングしました。

スタートは8名で新田様・畠澤様が初参加でしたが、3か所目の訪問先である天嶽院にて、足立・

公平両名が加わり総計10名となりました。私は4か所とも初めて訪れましたが、どの神社・仏閣も由

緒あるところで藤沢のルーツともいえるこの地域を再認識しました。

田中雄一(昭和50・政経)



慈眼寺にて

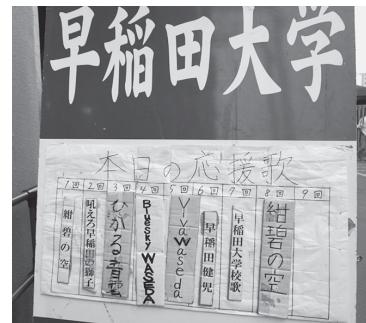
倉野菜を中心としたとても美味しい肴を旨い日本酒と一緒に味わい、とても楽しいひとときを過ごしました。

田中雄一(昭和50・政経)

主人の機嫌を取ろうと面白おかしく鐘の音を再現して見せるのが見所。寿福寺はジヤンモーン(並みの音)、円覚寺はパーン(薄い音)、極楽寺はジャガジャガジヤガ(破れ鐘の音)、建長寺はコーンモーンモーン(余韻のある良い音)。そう建長寺の鐘の音が一番だというのです。



結局叱られて終るのですが、私達も実際に巡つて聞いてみたくな



学生席で歌った応援歌一覧

元憲幸(昭和47・法学)を共に祝いましょう。

秋季は10月27日に早慶戦2回戦をネット裏で応援します。ネット裏は日焼けせず応援できます。奮って応援して早稲田の勝利、優勝を共に祝いましょう。

古典面白話

亀井野山下扶佐子(昭和47・法学)

狂言に「鐘の音」というのがあります。狂言は京都が中心のお話が多いのですが、これは珍しく関東、鎌倉のお話です。しかも私達の良く知っているお寺の名前が出てくるので、つい引き込まれます。

太郎冠者(たろうかじや)の主人は、息子の元服の祝い(15歳)に金で作った小刀を送ろうと思い、太郎冠者に、「鎌倉に行つてかねのね(金の値)を聞いて来い」と言いつけます。ところが(鐘の音)と思つた太郎冠者は、寿福寺・円覚寺・極楽寺・建長寺と回り、自分で鐘をついて音を聞きます。そして戻ると当然主人にひどく叱られます。

主人の機嫌を取ろうと面白おかしく鐘の音を再現して見せるのが見所。寿福寺はジヤンモーン(並みの音)、円覚寺はパーン(薄い音)、極楽寺はジャガジャガジヤガ(破れ鐘の音)、建長寺はコーンモーンモーン(余韻のある良い音)。そう建長寺の鐘の音が一番だというのです。

会員の広場

亀井野山下扶佐子(昭和47・法学)

りますね。ちなみに現在寿福寺は入れません。建長寺・円覚寺は「日本の大鐘百選」というCDに、極楽寺はユーチューブにアップされ

ていて聞くことが出来ます。

穂 潤

元会長を偲んで

去る3月29日に岩淵顧問がご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

ご逝去との報に接し、日々驚きでした。翌日の30日、ご自宅でいい顔をされ、安らかに眠つていられた岩淵さんでした。

お焼香を終わり、65年ほど前に江ノ電・西方駅（現、湘南海岸駅）で学生帽・学ラン姿でテニスのラケットを片手にかつこいい早大生・岩淵さん、グランドゴルフのショット時の真剣な眼差し等々が懐かしく思い出されました。

岩淵さんは、藤沢稲門会が設立後まもなく入会され、8年間の副会長そして平成16年から4年間3代目の会長としてご尽力頂き、几帳面な性格そして皆さんの意見を良く聞き会を活性化され、特に平成20年の神奈川県支部大会では実行委員長を務められ大会を成功裏に收められた功績は大きいです。また藤稲テニス同好会を創設され、育成に努められ、現在の素晴らしい同好会にご尽力されました。

そして、母校テニス部への応援では、私とタッグを組み、平成15年の関東大学リーグ戦が、藤沢・荏原スポーツセンターで6日間行われ、藤沢稲門会会員が延べ64人で応援し、「藤沢稲門会」の幟を立て、テニス部から感謝され、そ



平成24年大学テニス王座決定戦男子8連覇・女子7連覇を応援／宮城淳先生・岩淵・鈴木（左より）

久我陽一氏への追悼

車が発車の合図をした時、参列者から「都の西北早稲田の森に（）」

校歌の唄声。「俺の葬式の時に

はよ、校旗で棺を包んで出発の時

には校歌を歌つてくれよな！」あ

れは何時の時だつたか、そうおつ

しやつていた久我さん、お約束は

果たしましたよ。

早稲田をこよなく愛し、藤沢校

友会の立上げから率先して皆を引

つ張り、藤沢校友会（現稲門会）

の発展に寄与され、校友会活動に

積極的に参加され、新春の箱根駅

内では知れ渡りました。

テニス界でも活躍され、全日本

学生テニス連盟を始め、日本・関

東・神奈川・藤沢テニス協会の要

職を歴任され、平成15年11月には、

スポーツ功労で叙勲『旭日双光章』

を受賞されました。加えて、平成

天皇が当時皇太子さまであつた時

に、軽井沢でテニスをされていま

す。

靈柩車まで御棺を抱え運ぶ最中、

い同好会にご尽力されました。

早稲田を愛し、テニスを愛した岩

淵さん「藤沢稲門会の更なる発展

と母校テニス部の連覇に向けて、

頑張れ!!」の声が聞こえて来た気

がしました。

永い間、有難うございました。

どうか安らかにお眠り下さい。

鈴木昱生（昭和34・法学）

横須賀での校友会活動支援の話、野菜つくりの話等々、皆が思わず釣り込まれ聞き惚れていきました。野菜つくりの話は穂濤俱楽部でも見できなかつたので心配しておりましたが、残念でしかたありません。

藤沢校友会（現稲門会）の礎を築かれ、会員相互の親睦の象徴的存在であつた久我さんにもうお会い出来ないかと思うと、一抹の寂しさを感じます。

「集まり散じて人は変われど

仰ぐは同じき理想の光（）」の校歌

にあるように久我さんが発足に尽

力された藤沢校友会（現稲門会）

の今後の発展を天国から見守つて

いただけることを願いお別れいた

します。

「ごきげんよう　さようなら（）」
長瀬輝行（昭和34・法学）

お酒がはいると独特的の言い回しでご自身の大学入試の面談時や会社の入社面談時の話、会社のヨツト部での活躍、新入社員として赴任した大阪時代の話、学生時代の

行事予定

■第19回 藤沢稲門会作品展
日時・8月27日（日）～9月1日（日）

会場・藤沢市民ギャラリー
(ODAKYU湘南

※詳細は同封のハガキ参照
■第19回 神奈川県支部大会
日時・11月2日（土）

会場・レンブラントホテル厚木
主管・厚木稲門会

編集委員長 外岡 健
編集委員 高野尚志・中野正一
山口金雄・山下扶佐子